

10/29  
民報

# 相馬港 マナー守って

## 環境保全でごみ拾い 地元釣具店と釣り人有志ら



相馬港周辺の釣り場でごみを拾い集める参加者

相馬市尾浜の釣具店「つりエサ豊漁」と、同店を利用している釣り人有志らは、市内の相馬港周辺でク

リン活動に取り組んだ。同港と松川浦漁港周辺では、釣りや観光などで港周辺を訪れた人々によるとみられるごみの投棄や無断駐車などが後を絶たず、港を管理する県相馬港灣建設事務所が釣り人などの立ち入り禁止区域を広げているという。こうした利用者のマナー悪化によって自由に釣りやレジャーを楽しむ場所が少なくなることを懸念し、同港周辺の環境保全に努めていくことが今回初めてクリン活動を企画した。約五十人が参加し、同港と南防波堤、松川浦新港の三方所に分かれて周辺に捨てられたごみなどを拾い集めた。近くで釣りなどをしてきた人にごみの持ち帰りを呼び掛けた。活動終了後には軽トラック三台分程度のごみを回収した。活動を主催した同店店員の木須加奈子さん(37)は「利用者のマナーが向上しなければ、相馬を訪れた釣り客や家族連れが場所の制限を受けずにレジャーを楽しむことが難しくなる。今後定期的な活動し、意識を高めてもらえよう訴えたい」と話している。

### 釣り愛好者ら沿岸清掃

相馬 マナー向上訴える

相馬市の釣具店「つりエサ豊漁」と同店を利用する釣り愛好者有志が、相馬港周辺で清掃活動を行った。参加者は沿岸部のごみを拾いながら、釣りのマナー向上を訴えた。同店によると、新型コロナウイルスの感染拡大で人数が集まる催しやレジャーが自粛傾向となる中、距離を取って行える釣りは人気を集めている。一方で、釣りや観光で訪れた人の相馬港周辺でのポイ捨てや、禁止区域での釣りなどが後を絶たないという。漁業への影響も懸念されることから、相馬港灣建設事務所な

ら、相馬港周辺の清掃活動に取り組む参加者

10月18日に行われた活動には約50人が参加。同港や南防波堤、松川浦新港を中心にペットボトルや釣り餌の残りなどのごみを拾い集め、釣り客らにごみの持ち帰りを訴えた。

1/2 民友

同店の木須加奈子さん(37)は「これからも定期的に活動して適切に利用する意識向上を訴えたい」と話す。マナー向上を実現させ、釣り場の禁止区域縮小につながることを目標としている。



相馬港周辺の清掃活動に取り組む参加者